

12月
定例会

のざき正志・定例会一般質問より

質問

レセプト活用で医療費適正化について、レセプトの活用で健康促進の具体的取り組みについてどうか伺う。

答弁

国の補助金等を積極的な活用により、健診の結果、医療受診が必要な方について保健師や看護師による、受診勧奨を行っている。国保連合会においてレセプト情報を元に医療費データの統計的数値の集計で保険事業の実施に活用している。

質問

ジェネリック医薬品の効果について、国保財政にメリットになっている。促進の現状と取り組みはどうか。差額通知の取り組みはどうか伺う。

答弁

22年度からジェネリック医薬品カードを保険証の更新時同封している。差額通知については、24年度から年2回差額が一定額以上の方に送付している。25年2月通知後の3ヶ月の保険者負担7割相当分で143万円の効果である。

質問

アベノミクスと地域活性化について、本市における景気動向、実態についてどう認識しているのか伺う。

答弁

昨年8月に踊り場局面を迎え、その後は改善、悪化の一進一退の状況である。約1年を経て売上高増加企業の割合が一貫して前月値を上回る傾向である。ハローワーク三条管内の有効求人倍率も8月以降は1倍を超えている。

質問

農商工連携等による6次産業化について、アベノミクスで象徴される成長戦略での農業の6次産業化の現状と課題について伺う。

答弁

現段階としては、サブシステムに対して支援していく。燕三条畑の朝カフェやイタリヤ料理研究会を代表事例としながら、国や県レベルではできない支援策を行う。農業活性化プランに基づく農業担い手育成塾等の支援策を引き続き行っていきたいと考えている。

防災・減災基本法が実現！

「総点検を軸に命を守る対策」公明の提唱のニューディール反映

公明党が提唱する「防災・減災ニューディール」の考え方を反映した「強くなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」(防災・減災基本法)が成立しました。



ジェネリック医薬品希望カード



第三総支部の市議の皆さん



街頭演説中の野崎市議

「庶民の代表！常に現場から！行動する頼れる男」として活動しています。結党50周年に向け衆望を担う議員として議員力をつけてまいります。皆様よりの期待に応えるべく、更に働いてまいります。

ホームページはこちら <http://www.komei.or.jp/km/sanjo-nozaki-masashi/>